



2019年8月9日

各 位

上場会社名	日本製鉄株式会社
代表者名	代表取締役社長 橋本 英二
(コード番号	5401 東証一部、名証、福証、札証)
問合せ先	総務部広報センター
(TEL	03-6867-2135)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

本日、当社子会社であるジオスター株式会社が、別紙のとおり業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績への影響は軽微です。

以 上



2019年8月9日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 端山 真吾
 (コード番号 5282 東証第2部)
 問 合 せ 先 常務執行役員
 経営管理本部経理チームリーダー
 古橋 義孝
 (TEL 03-5844-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて、通期の個別業績予想について、前期実績に対して差異が生じる見込みであるため、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	15,000	750	750	500	15円98銭
今回修正予想 (B)	15,000	750	750	155	4円95銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△345	—
増減率 (%)	—	—	—	△69.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	13,434	966	964	643	20円57銭

2. 2020年3月期通期業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年3月31日)

① 連結通期業績予想数値の修正

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	31,000	1,000	1,000	600	19円18銭
今回修正予想 (B)	29,000	800	800	100	3円20銭
増減額 (B-A)	△2,000	△200	△200	△500	—
増減率 (%)	△6.5	△20.0	△20.0	△83.3	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	34,266	3,504	3,507	2,022	64円65銭

② 個別通期業績予想数値の修正

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—円—銭
今回修正予想 (B)	28,100	960	960	160	5円11銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (C) (2019年3月期)	33,134	3,516	3,536	2,044	65円34銭
増減額 (B-C)	△5,034	△2,556	△2,576	△1,884	—
増減率 (%)	△15.2	△72.7	△72.9	△92.2	—

3. 業績予想修正の理由

当社は、2019年7月16日に公表いたしました「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」に記載の通り、2019年7月12日開催の取締役会決議に基づき連結子会社である GEOSTR-RV PTE. LTD. の全株式を譲渡いたしました。この結果、同社及び同社の100%子会社である GEOSTR RV(M) SDN. BHD. は当社の連結子会社から除外されました。これに伴い、2020年3月期第1四半期の連結決算において関係会社事業損失として500百万円の特別損失を計上しております。

本特別損失の計上により、第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想数値の500百万円から155百万円に減少する見通しです。

通期の連結業績につきましては、大型セグメント製品の生産・売上が翌期へずれ込むことを主因として、売上高は290億円（対前回予想6.5%減）、営業利益及び経常利益は8億円（対前回予想20.0%減）となる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の減益要因に加えて、関係会社事業損失の計上により、1億円（対前回予想83.3%減）となる見通しです。

なお、通期の個別業績につきましては、連結と同様の理由により、売上高281億円（対前期実績15.2%減）、営業利益9.6億円（対前期実績72.7%減）、経常利益9.6億円（対前期実績72.9%減）、当期純利益1.6億円（対前期実績92.2%減）となる見通しです。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上